

会 議 録

1 会議名

第4回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

・柿崎夕日フェスティバル事業の事業内容変更等について(公開)

3 開催日時

平成28年7月6日(水)午後1時30分から午後2時30分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ3階 305～307会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。)氏名(敬称略)

- ・委員：長井洋一(会長)、小出優子(副会長)、片桐充、加藤満、佐藤健、白井一夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、湯本清隆、渡邊征雄
- ・事務局：柿崎区総合事務所 南博幸所長、横田一次長、大場正弘総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、古屋靖夫建設グループ長、中村稔市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代地域振興班長、野沢洋輔主事、小田一輝主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【横田次長】

- ・会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【長井会長】

- ・挨拶

- ・議事録確認に白井委員を指名
- ・協議に入ることを宣言
- ・平成 28 年度地域活動支援事業に採択した「柿崎夕日フェスティバル事業」に関し、提案団体から 6 月 29 日に提案変更の申し出があり、事業内容及び事業費が大幅に変更となることから、委員による協議が必要であると判断し、地域協議会を開催することとした旨を説明
- ・上記の件に関し、提案団体から変更内容の説明及び委員からの質疑応答の時間を設け、その後、この提案変更の取り扱いを協議することを委員へ提言、委員から異議なしの声
- ・当該事業の実行委員長を務めている佐藤委員に関し、「柿崎区地域協議会が採択事業の審査に当たり定める事項」第 1 条の「地域協議会委員が役員（会長、副会長）を務める団体が提案した事業については、そのプレゼンテーション及び審査に参加することができない」の規定により、提案団体からの説明及び質疑応答、事業の取り扱いに関する協議時に退席とするか否かを委員へ諮る

【佐藤委員】

提案変更に関し、審査方法の規定が無いにも関わらず、提案団体の会長が退席すること自体おかしいことではないか。事業を実施するにあたり、問題点が出て変更が生じたので、いかがでしょうかと委員へ諮ることが本日の協議会の趣旨である。提案変更の説明時等の除斥については定めていないのだから、今後、取り扱いをどうするかをまず決めるべきではないか。

【新部委員】

提案団体の会長の役職にある委員は除斥の対象となる。しかも今回は単純な変更ではなく、事業費に相当な変更があり、内容も大幅な変更になるという提案なので、改めて審査し直すことになると思う。私は、実行委員会の委員長をされている佐藤委員は除斥の対象となり、退席された方がよいと思う。

【白井委員】

内容が大幅に変わっているので、全く新しい提案ということになる。

【渡邊委員】

当初の提案からこの提案変更の内容であれば、別の意見があったかもしれない。あるいは採択、不採択に影響する部分があったかも分からない。そういう面から考えると、佐藤委員の退席は妥当かと思う。

(佐藤委員退席)

【新部委員】

最初に事務局に確認したいことが2点ある。まず1点目は、提案変更の申請は配られた書式でよいのか。事業変更承認申請書を使うのではないか。

もう1点は、この事業は提案されたときに採択という答えが出ているが、変更の内容を協議した結果、改めて採点し直すことができるのか。

【南所長】

地域活動支援事業は所定の様式に基づいて団体が申請し、地域協議会からその事業が当該地域において必要なものかどうかを判断をしていただく。委員の皆さんからこの地域に、この事業が適切、妥当であると判断いただいたものは、提案団体が市に補助金交付申請を行う。交付決定していれば、事業内容に変更が生じた場合、事業変更承認申請書を提出していただくことになるが、まだこの事業は市に補助金交付申請書が提出されておらず、その前の段階である。市に申請する前の変更であるため、再度、地域協議会で判断いただきたいと考えている。

次に、書式に関しては前例がないため決まった様式がなく、提案書に準じて作成した。

最後に、点数付けをどうするかということは、あくまでも地域協議会で決めていただくことになる。

【長井会長】

- ・ 柿崎夕日フェスティバル実行委員会から5分間程度の説明を受けた後、質疑応答を行う旨を確認

【柿崎夕日フェスティバル実行委員会】

- ・ 提案変更の内容を説明

【長井会長】

- ・委員へ質問、意見を求める

【白井委員】

ポスターが 7,360 円から 9,000 円に増え、総額で広告宣伝費が約 2 倍に増えている。チラシの新聞折り込みが柿崎、吉川、大潟、犀潟、百間町、明治で 8,650 枚予定されているが、百間町や明治、犀潟からの来場者数を把握しているかをお聞きしたい。

【柿崎夕日フェスティバル事業実行委員会】

残念ながら、どちらから来ているかというデータはなかなかつかみづらく、把握していない。

【楡井委員】

名立太鼓が民謡&歌謡ショーに変わったが、名立太鼓が無くなった理由と民謡&歌謡ショーの内容を聞かせてほしい。

【柿崎夕日フェスティバル実行委員会】

名立太鼓は、柿崎夕日フェスティバルの実施日を 7 月 30 日（土）から 7 月 31 日（日）に変更したことから、他のイベントとバッティングしてしまい、出演できなくなったため、民謡&歌謡ショーに変更した。

歌謡ショーは、直江津在住のアマチュア歌手で、施設等を慰問したり、ボランティアで歌を歌ったりしている人である。民謡の方もアマチュアの人である。2 人の出演を予定している。

【武田委員】

実施日を変更しているが、7 月末の日曜日は、小学校や中学校が夏休みに入り、各団体や組織がイベントを予定しているので、当初見込んでいた子どもが来場できるのかが不安である。また、ミニ新幹線を 20 何万円もかけて走らせても、夏の暑い日に子どもが乗りに来るだろうか。

【柿崎夕日フェスティバル実行委員会】

実施日の変更は早くから検討を行い、すでに小学校に依頼し了解をいただいている。

昨年は午後 3 時から開会し、小学校のマーチングバンドの皆さんには大変暑い思いをさせてしまったので、今年は 1 時間遅らせ午後 4 時から開会する。

【白井委員】

来場者がどこから来ているかを把握していないことから、犀潟、明治、百間町のチラシの新聞折り込みは費用対効果の面で疑問があるので、これは外した方がよいのではないかと。

また、雪購入のキャンセル料は、補助対象外事業費として支払うと答えたが、そのお金はどこから出てくるのか。団体には財政力があるように思われる。今後、雪の購入を止めれば、地域活動支援事業を活用しなくても、事業を実施できるのではないかと。

【柿崎夕日フェスティバル実行委員会】

来場者がどこからおいでになったかを把握するには、一人一人に聞かないといけない。概ねの数字になるかもしれないが、可能な限り把握できるように努力していきたいと思っている。

雪購入のキャンセル料は 36 万円弱で、実行委員会の単独費で支払う。将来的に雪遊びを無くした時に協賛金だけで賄っていけるのではないのかという話だが、現状では 1 社だけの協賛金である。貯雪は自然が相手なので、リスクが大きいと思っている。

雪の購入を止めても、80 万円ほどの事業費の財源をどのように確保するか。例えば、企業から 30 万円なり 40 万円なりを協賛していただき、残りを広く一般の個人から協賛金を募って事業を実施することができるのであれば一番よいと思っている。ただ、協賛金を集めることは手間暇がかかり、昨今の経済情勢の中では厳しく、できることならば地域活動支援事業を継続して活用したいと思っている。

【小出副会長】

計画が甘いと思うことが多い。観客を飽きさせることになるからフラダンスの時間を短くしたであるとか、暑いから開始時間を 1 時間遅らせて午後 4 時にしたであるとか、昨年の反省が生かされていない。

そして、夕日フェスティバル事業自体は非常によいと思うが、実行委員会で活動している人の姿が見えてこない感じがする。協賛金を集めることもなかなか大変と言われたが、

地域に根差した活動になっていないような気がする。団体の設立目的が、「地域の賑わいを創出するため、海、夕日、そして真夏の雪を観光資源としてPRし、交流人口の増加と地域の活性化を図る」だが、これからも賑わいが続き活性化していくためには、お金がないとできないのかな、という感じしか受けない。

【柿崎夕日フェスティバル実行委員会】

開始時間を午後3時から午後4時に変更したのは、雪がある場合には雪で暑さをしのぐことができるが、今年は雪が無いので、暑さをしのぐ術が無くなってしまふことから、開始を1時間遅らせた。

実行委員の活動している姿が見えてこない指摘をいただいたが、私はこの種のイベントに関しては、実行委員は裏方オンリーで動いているので、表に出てこないものだと思うため、そういう指摘にはあてはまらない。ただ、実行委員会が各世帯へ協賛金をお願いにあがれば、動いている状況が見えてくるのではないかと思っている。

【長井会長】

事業内容に大幅な変更があるが、一度採択しているので異議がないようであれば、承認したいがいかがか。

(異議なしの声)

それでは、今回の提案変更を承認することに決定する。

【長井会長】

- ・佐藤委員が自席に戻り、審議を再開する

「柿崎夕日フェスティバル事業」の提案変更承認に伴い、地域活動支援事業の配分額の残額が358,000円増額となった。この増額分を追加募集の金額に加えてよいか。

(異議なしの声)

【長井会長】

- ・次第5その他に入る
- ・次回の地域協議会は7月25日（月）午後6時30分から柿崎地区公民館3階集会室において開催し、地域活動支援事業追加募集分の提案団体からのプレゼンテーション及び質疑、採点、採択の可否を行う旨の確認を行う
- ・追加募集の応募状況及び提案団体への質問票に関する事務連絡を行う

【唐澤班長】

- ・上越市地域協議会委員活動への協力文書について
- ・市民大学受講生の募集について

【長井会長】

- ・まちづくり振興会役員・運営委員合同親睦会の参加について

【楡井委員】

先日、上越タイムスに柿崎景家の資料が上越市へ寄贈され、柿崎時代夏まつりで市民に公開するという記事を読んだ。今、地域活動支援事業を使い「景家くん花ちゃん」のイメージソングの振り付けを募集しているので、景家くんをもっとPRし有名にしてほしい。

【大橋G長】

柿崎家の末裔の方から資料を寄付していただいたと公文書センターから連絡があり、総合博物館で展示する前に地元の柿崎で公開させていただくため、柿崎時代夏まつり開催日の8月6日（土）、7日（日）に柿崎保健センター1階運動指導室で資料を展示し、当日は学芸員が解説にあたる。広報上越7月15日号に展示会開催のお知らせを掲載し、全市的にPRを行う。合わせて楞嚴寺にある柿崎家の古文書も公開していただく予定である。

【小出副会長】

- ・地域協議会だより編集に関する連絡を行う

【長井会長】

- ・閉会を宣言

（午後2時30分閉会）

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。